治療方法についての説明内容

平成　　年　　月　　日

病名・病状	（　右・左　）乳癌　（ 術前・術後 ）	
治　療　方　法	.ハーセプチン療法 （　タキソテールまたはタキソールの併用　有・無　）	
治療法の概略	1 週間に 1 回、約２～３時間の点滴を毎週連続で投与します。 タキソールまたはタキソテールを併用投与する場合は タキソールまたはタキソテールは 3 週連続投与、1 週休薬とし、これを 1 回として繰り返し。 （術前は約４回行います）	
治療の必要性と期待される治療効果	１．腫瘍（局所および全身）の縮小効果 ２．再発の予防	
起こり得る合併症	〔ハーセプチン〕発熱：45%、嘔吐・倦怠感：17%、 心障害・アナフィラキシー様症状（低血圧、頻脈、顔面浮腫 咽頭浮腫、急性呼吸速迫症候群など）、間質性肺炎、 血球減少、肝障害、腎障害、敗血症：頻度不明　　など 〔タキソール・タキソテール〕　別紙参照	
添付資料	有（　　）　無	
患者さんからの質問と医師の説明	患者さんからの質問	医師の説明
備　　考		

乳腺一般外科　説明医師＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

順天堂大学医学部附属　順天堂医院